

まちのわだい



身近なできごとや旬の話題を、企画振興課（☎6550）までお知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています!!

まちの農業をサポートします みんなでもやる楽しい農業

(有)日野アグリサポート始動

「このままでは農地は荒廃してしまつ。農地を守らないと。農業の担い手がなく、土地はあっても有効活用されていない。また、家族で農業をするのは機械などの経費が高く労働力の負担が大きい。このような町の農業の現状を何とかしなければと、農業者のサポートを目的とした「有限会社日野アグリサポート」が4月3日(月)に設立。4月28日(金)、爽やかな青空のもと、まずは受託された水稻や飼料稲の直播作業から開始されました。社員は30から60歳代の10名、従業員1名。

専業農家や自営業などをされている方たちです。社員は会社設立に際し、出資金を出し合っているのが役員でもあります。代表取締役の北川幸治さん(小谷)は、「営利目的ではなく、あくまで農業者の手助け。今は主に、生産調整として転作される30%の土地の農作業を任せてもらい、有効活用に取り組んでいます。農家や集落からすべてを受託するのではなく、主要作業・管理作業は連携しながらやっていきます」と利益追求ではなく、昔からある「集落でする農業」の形をサポートしながら、町全体で効率的な農業が経営できることを目指しております。

「農家という言葉はもう使わない。農業は家族でするもの」



▲北川幸治さん(小谷)



▶ゲームで盛り上がった交流会



▶アフリカの楽器・ジャンベも登場。心地よいカントリーミュージックが流れる…

氏郷公ゆかりの松阪市と歌で交流

蒲生氏郷生誕450年記念事業

4月22日(土)・23日(日)の2日間、日野少年少女合唱団と松阪少年少女合唱団との交流会が松阪市で行われました。

1日目は、合同練習をしたり、夕食時はゲームなどをして楽しく交流。2日目は、蒲生氏郷生誕450年を記念して開催された「松阪おんがくかい」で、松阪、日野それぞれが発表し、合同の合唱も披露。両合唱団に観客から大きな拍手が送られました。お別れでは、お互いの合唱を贈り合い、記念撮影などをして別れを惜しんでいました。偉大な文化人でもあった氏郷公。そのゆかりの地・松阪市と合唱を通して交流を深められました。

綿向神社がライブホールに!?

酔宵山コンサート再燃

平成8年、「まちに活気を!」をスローガンに、音楽を通じてまちを活性化しようとしたアマチュアバンドによるコンサート「酔宵山コンサート」が8年ぶりに復活。4月29日(土)、綿向神社の屋根付の土俵をステージに、午後1時から夜まで長時間にわたり、13グループが演奏されました。

宮司さんは「酔宵山がなくなった後も毎年、数名のグループが神社に集まって演奏されていたのを知っています。神社をこういうイベントに使ってもらえれば」と復活を歓迎されていました。木々に囲まれた境内が大きなライブホールになり、アコースティックギターやマンドリンなどの澄んだ音色と歌声が響き渡っていました。



まちのわだい



▲「私たちが町の農業をサポートします！」

ではなく、仕事として組織でするもの」と北川さん。例えば、米の生産調整として日野で多く作られているレンゲ。「せっかくの良い土地なのにレンゲに使われている。このような土地を麦・大豆・飼料稲などに活用できる。個人や集落だけでなく、広域的に日野町全体で農業をやっていくことが必要。担い手づくりにもつながる」と、地域の農業のネットワークづくりに意欲を燃やされています。今後、あらゆる農業団体とも連携をとり、営農の拠点となるような体制を作りたいと考えておられます。深山口に事務所も設置される予定。



▶日野小学校5年生61名が遠足で訪れていました。4/28(金)



▶おくどさんから湯気が立ち上る。もうすぐ竹の子ご飯が…

昔懐かしい「おくどさん」

日野祭に西田邸で日野椀御膳

5月3日の日野祭、古い町並みの残る村井にある西田邸が休憩所として開放され、たくさんの観光客でにぎわいました。

これは、約30年間空き家だった民家を住民の有志ボランティア「ひのきの会」の皆さんが借り受けて、この日のために大掃除されたものです。訪れた方は、心落ち着ける昔懐かしい空間で、ホッとひと休みされていました。

また、「おくどさん」(昔の煮炊きする設備)で炊いた竹の子ご飯やすまし汁、日野菜漬けなどを日野椀に盛り付けた「日野椀御膳」を販売。大好評で、すぐに売り切れとなりました。

今年のシャクナゲは、

GW後半が見ごろでした

4月23日から5月7日までの15日間、国の天然記念物に指定されている、鎌掛の石楠花溪に合計9,210人の観光客が訪れました。

今年は4月の気温が低かったため、咲き始めるのが遅く、見ごろはゴールデンウィーク後半でした。昨年に比べると、やや花の数は少なかったものの、溪全体に淡いピンク色のホンシャクナゲが咲きました。

期間中、入場口そばの休憩所「森の家」では、日野観光協会が「コーヒート特産品を販売。でっちゃんかん、地酒、ダリア園のイチゴなどが並べられ、訪れた方がお土産に購入されていました。